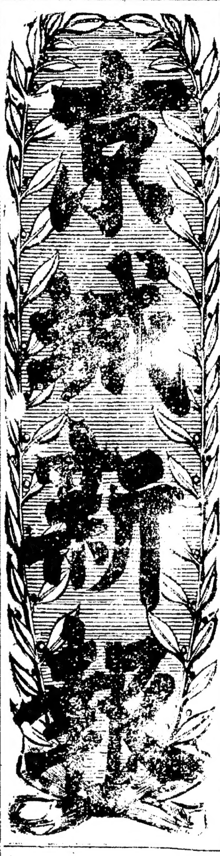


人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
定價 本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 一行金十錢▲五號活字十七字詰一行一回金六十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久馬一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一二番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

電鐵事業 公園經營論(六)

岡崎遠光

第四、公園の價值

公園の規模及位置は其の都市の大小及將來の發展如何に依りて決せらるへき問題なり而して何れにしても公園は一般住民の遊樂場としての價値あらさるへからさるを以て廣大なる地坪、閑雅なる風致並に運動及娛樂の資料あるを要す即ち花園、泉水、運動場、喫茶店、圖書館、動物園、水族館、演藝場等を具備する事を得ば尤も妙なり而して是等の設備は之を都市將來の發展、生活狀態の推移等に鑑みるに之を郊外に求むるを以て最も策の得たるものとなす電鐵會社か直接之か經營の任に當るに於ては其の收入增率の一手段にも供せさるへからさるを以て殊に然りとなす公園を郊外に設置する場合には其の交通機關の速力は敏速にして其の運轉回數は最も宜に適はさるへからす隨つて多額の資金と經費とを要することゝなるなり然るに前述したるか如く市鐵は季節的關係上一時資本休止の事あるへきを以て一私營會社に取りては必しも容易ならす然れとも幸に京城市の電鐵は既に市外に軌道を布設せるを以て今若し現在市外軌道の附近に公園を設置すとするも又之か為め軌道、車輛等に關し故らに多大の資本を投下するの必要之れ無く其の主たる資金は公園の設備に要するものに外ならさるなり而も其の設備の如何及經營の如何に依りては其の資金亦決して少額に止まらさるへし抑々公園又は遊樂地の都市政策上最も必要なる機關たるに拘らす一般住民は左迄之を重要視せさる傾向あり是れ畢竟夫の衣食住の資料の如く精神上及肉體上に直接影響する所少なき觀あるに由る故に電鐵會社の立場より見るに一般住民をして之か利用を最も簡易ならしめ一度其の價值を感得せしめんか則ち永續的に之が趣味を解し遂に必須的習慣とならしむる方便なかるへからす而して此の習慣の養成は即ち電車乘客を增加する所以なるを思へは公園往返の電車賃の如きは能ふ丈割引をなし其の入場料又は觀賞料の如きは極めて安直又は無料となし園內の設備の如きは四季共上下男女に取りて其の心身に適するものとなさゞるべからさるなり

尚一歩を進めて言へは郊外に於ける遊園地の周圍一帶の他區郡外居住者の需要に應して住宅の新築を見由つて以て多數の住民を誘致し公園と相俟つて附近一面の發展を助成し一方に於ては郡會の膨脹を促し地方に於ては即ち以て遊園地の價度を高からしめは即ち以て遊園地の價值亦昂上すへく隨つて其の經營亦容易なるに至るへきなり(終)

雜報

夕暮れ(上)

白楊生

或る黃昏の事でした、僕はゆき來杜絶へた馬頭山の一角に佇んで悲哀な夜の幕にだん／＼と閉されて行く夕暮れの京城を遙に見やつてこんな事を考へました。

夫れは今更らに驚けばとて歸りこん月日かはとは思ひますもの、正月がきた／＼と賑ふた瞬間も早其正月が遠い／＼過去となつてしまつたのですもの、夫れにしても我が樂しき青春の佳期も追々と遠ざかつて行く心地がするのです、今の僕にはもふ宗教もありません、詩も、哲學も、無論ないのです。

曩昔は『食はんが爲めに生きて居るのでなく生きるが為めに喰ふのである』と云ふ、考へと、生きて居る以上名とか戀とか或るものを求めんが為め常に奮闘して居たよふでしたが今の僕の生は空虚です、無意味です、僕のよふな現代の風潮に適應しないものは生の渦巻に棹して行けませんもの、僕は社會とは今少し眞實なものと考へて居ました、又個人同志の德義も少しはあるものと思ふて居ました、實際我々が受けた教育、其の中でも學校で先生から實踐せよと習ふた倫理を實踐して行た日には到底生活は出來ないのです、つまり、日本の教育は矛盾して居ると思ふのです、甲は常に乙の缺點を暴露させる事を能事とし、乙は又甲の無能を訴へ常に暗闘の絶へ間とてはありません、とても現代は手腕や言論の世じやありません、寧ろ僕は僕自から消からんが為め田園にでも歸臥しましよ、偶々謂々の正論も時代に阿諛し追從する輕薄才子の為めに七重八重に閉ざされてしまいますもの之れが曩日の僕でしたら潑溂たる意氣と縱橫の覇氣とであく迄狗鳴狗盗の輩を論難攻擊してやるのですが今はもふ其勇氣も雲散霧消してしまいました、僕が思ひますには新たに官吏養成所でも作つて先づ官吏になる資格要件を充分教育したらよからふと思ふのです、先づ第一の項目として上官の御髯の塵を拂ふ事を教へ第二には同僚の惡口を云ふ事等教へて行たらよいだらうと思ふのである無論學問なんか無用の長物です。

外事一束

▲英國 ベルファスト市長同市が愛蘭自治問題に關して自由保守兩黨の對抗▲演説場となり血を見るの虞あるより數週間の軍隊警戒を要求するに至る

▲女子參政權問題に關して英國藏相首相互いに反目を來し確執甚しと云ふ

▲米國大統領二日下院に向つて長文の教書を下しアラスカ開發產業關係▲講究委員の任命及び生活難講究萬國會議等に關し大に提唱する所ありと

▲墨國 チフファ各地の官軍賊軍と爭鬪し死傷頗る多く內地各地に起ると

▲佛國 陸相ミルラン氏九十二萬磅を支出し飛行聯隊設置の議案を提出せり

▲沈沒の英潜航艇發見せられ英皇及び獨帝は同事件痛悼電報を海軍に送る

文苑

飛び／＼日記

仁川 たび家丹葉投

……△素見▽……(三)

期候たくれの冬季なれば特に大安賣するとの銘打つて。

燃闘や鳥羽玉の闇山たろし

主題が動きはせすや、鳥羽玉の闇山颪時鳥、デモなく烏羽玉の開花吹雪飛ぶ螢!!位いの處勉兒に角原句の儘にては苦るしい／＼。

人骨も交るべく洞に焚く榾に

榾の眞相凄いぞ／＼。

とぐろ巻て徘行脚酒に榾の宿

詩嚢と共に溫まりたる事なるべし。

埴生輪人形榾火に翳ざし心たる

行き暮れし傀儡師どもの宿を乞ひ得て手すざみし業か、幽谷奥深うして窺ひ知れず殘念／＼。

白き花とも見しや鱗榾消ねて

居眠りながら夢心地に白き花とも見しや丁も慥かに譯らず是も矢張り夢こゝちにて有りしなるべし。

梁川庄八

小金井蘆洲演

第九十七回

越『オヤ此野郎謙信樣の胸倉を取つたな』甲『何を吐しやアがる』と拳固を固めてポカリ／＼ 越『オヤ謙信樣を打ちやあがつたな』と摑合の喧嘩、見て居られないから江戸つ子が仲へ入つて、江『マア／＼止しねへ、兩方とも荒つぽい事をしちやあいけねヱ、甲州の人もさうだ、無暗に武田信玄になりたがらねヱでも宜い、胸倉を取らなくつたつて口で言へば分る、越後の人も上杉謙信になつて打れねヱで宜い』越『イヤどうも濟みません、ツイ話に熱を持つて來たもんだから斯んな間違ひになつてしまつて、甲州の人誠に濟まなかつた、何卒勘辨してお呉んなさい』甲『ナニ私の方でも斯んな間違ひをしたくはなかつたけれども、ツイ信玄樣を惡く言はれたものだから胸倉なぞを取つて宜くなかつた、どうか勘辨してお呉んなさい』江『アハヽヽ、どつちが強いたつて弱いたつて昔の事ぢやア仕樣がねへ、それより何だ今時の話をする方が面白へぢやアねへか、今此の世の中で偉いと云ふものでねヱ、名前が現はれねヱでも偉ひ人があるものだ』駿『大きにさうだ、マア私が今度感心をしたのは此方に來る途中泊り／＼の宿々で噂の高い奥州仙臺の御浪人で梁川庄八正國と云ふ人は實にどうも偉い人だ』と一人が言出した、艫の所に先刻から抱腹絶倒して乘合の人の話を聞て居た梁川庄八何ぞ圖らん話が一轉して、自分の事に及ぼして來たから、是は困つた事になつたと下俯向ひて居る 江『何ですテ其梁川庄八と云人は』駿『此方は奥州仙臺の伊達樣の御家來でお在でなすつて、何う云ふ譯で仙臺を御浪人なすつたか知りませんが、牢を破つて然うして仙臺を立退き、行先々で情けを施し、人の難義を救つてお歩行なさる』江『ヘヱー夫は偉い者ですなあ』駿『第一何處へ行けばと云つて、一晩泊りは兎も角も二晩三晩と滯在をすると、屹度其宿の前に奥州仙臺破牢の浪士梁川庄八と云宿札を立て歩く』江『ヘヱー』駿『牢破りの宿札を立て歩くのですから人が驚きまさあネ』江『さうですネー』駿『甲府に御滯在になつた時に、町奉行の藤本下總守と云ふ人が宜くない、曲つた政事を取つたと云ので、甲府御城代本多長門守樣に掛合つて、其藤本下總守と云人が御役御免になつて、江戸表へ呼返されて、詰腹を斷つて御了ひなすつた』江『ヘエー』駿『然うして甲府を御出立になつて、東海道を鰍澤から岩淵へ出て、此方に段々乘込んでお在でなすつた、此間は鳴海の宿の問屋場役人と雲助が腹を合せて、旅慣れない若い浪人夫婦が通り掛つたのを、關所破りだと柄の無い所へ柄を附て難題を言ひ掛け幾らか酒料を強請うとした、尤も此尾州の三宿、鳴海、池鯉鮒、宮と來てはどの位旅慣れない者が難義をするか知れない、御浪人も甚く困つてお在での時に、折よく通り掛つた梁川樣が、突然雲助二人を擲殺した、偉い力があるからポカリとやると、二人ながら頭が打壊れて眼玉がボン／＼と飛出し血嘔を吐いて死んで了つた、然うして懷中から幾干かの金を出して若夫婦にやつて、お見受け申した所が、路用も御手薄の容子だから是を差上る、斯んな雲助なぞと云者は吹けば飛ぶやうな者だから、一人や二人殺しても何でもないが、併し是から御夫婦が鳴海の宿へ掛ると、飛んだ御迷惑が掛ろうから、貴方御夫婦は大望を抱て居る方の樣に見受ける、依て是から鳴海へ掛らず三州の吉田へ引返し、便船を求めて勢州四日市へお渡りなすつて、上方へ御出でがよかろう、行く道筋まで敎へて助けてやり、御自分一人で鳴海の宿に掛つて來ると、問屋場役人が十人で周圍を取卷いて、御用人足を殺ろしたのだから打捨て置けないと掛合ふと、些とも驚かない平氣の平三で問屋場へ揚りこんで、夫から役人と人足を前へ置いて種々理屈を並べると、初めの氣色は何處へやら、役人も人足もヘト／＼になつて了つて、雲助を二人殺した梁川樣が反對に問屋場役人十人から詫證文を取つて、其上一人前十兩づゝの內濟金百兩をお取りなすつたのは實に宜い氣味でしたねへ、何時でも先方で無理難題を云掛けて飲代金を取る奴が、反對に取られたんだ者ですから眞青になつて了つた』江『ヘエー却々偉い事をする方ですねへ』



東京電報

▲所得税と政友會 政友會にては七日朝代議士會を開き前夜の決議通り所得税に關することは一切幹部に一任することゝなりたるを以て幹事長奥代議士は山本農相内田外相原内相及び井上侯と西園寺首相邸に會合し奥氏より代議士會の次第を報告せり

▲政友會の航路補助 政友會は航路補助の契約期限を何れも四十七年度までとし大に其整理を計らんとせり

▲西顧問官危篤 樞密顧問官西德二郎氏病氣危篤なり

▲共和承認時期 南京共和政府の承認に就ては同政府より我當局に對し已に交渉ありたるも同政府は目下進行中の南北妥協成立後は全然取消さるべきものにて承認不承認は妥協不調の場合に於て始めて問題となるべきものなるが右に關しては英國と一致の行動を採るべく目下日英兩國間に於て交渉中なりと

北京特電

▲退位上諭發表せず 淸帝退位に就ては別に退位の上諭を發することなく單に皇太后の名を以て皇帝政權拋棄の旨を布告するに留まるべしと而して皇帝退位後の假政府は北京に置かるべしといふに拘はらず國會は却て天津に開かるべしとの議あり

上海特電

▲退位發表十日乎 獨逸側の報導する處によれば滿洲朝廷の一切政務の放棄は來る十日發表を見るべく尚ほ退位發表後淸帝は北京に止まり皇族親貴は奉天に赴くべし

雜報

●議會と朝鮮問題 七日午後九時總督府着公電によれば同日の衆議院に於て決算總會を開き吉田代議士より龍山軍司令官々舍新營に付質問ありたり

●青年會補給金 是迄鍾路に於ける皇城青年會に對しては一萬圓宛の補助を爲し來りたるが昨年の議會に於ては頗ぶる喧ましき問題たりし爲め本四十五年度に於ては名目を變更し教育補助金として同費目に計上したりと然れども皇城青年會は果して教育機關として補助を與ふべき資格ありや否やは問題たるべく若し是認すべくんば日本人側の基督青年會も佛教徒の經營せる夫れも同様の資格あるべし若し政策上よりの必要といはば教育補助の費目は果して適當なりや否やと難ずるものあり

●迎日灣の鰊漁場 慶尙北道迎日灣の鰊漁場は漁業者增加したる爲め漁業紛擾となり昨年十二月漁業組合を設けて免許漁業者慣行に由る漁業者新來の漁業者等夫々網の建場を定めたる▲其後組合規約違反者續出して紛擾絕へざりしが其筋の嚴達に依りて漸く落着したりと云ふ

●氷上交通の危險 本年は例年に比し氣候溫暖なるを以て平安北道淸川江の如きは結氷漸く薄くなり通行に危險の場所を生じたるを以て危險の場所には標識を建てたりと云ふ

●道長官會議 行政整理に伴ふ官制改正は愈々來る四月一日より實施に就き寺内總督には四月十五日より一週間各道長官を京城に召集し地方行政改善に關し重要會議を開くべしと

●各道財務部長會議 總督府にては來る二十日頃より各道の財務部長を召集して徵税に關して會議を開くべしと云ふ

●府尹郡守召集 來る四月行政整理を行ふ必要上總督府に於ては來る十二日より十六日迄五日間全道の府尹、郡守を召集し京畿道廳に於て會議を催し種々の諮問事項に就て審議する由

●府事務官廢止乎 行政整理の結果各府廳には府尹を除くの外事務官を廢し判任官をして之れが事務に當らしむべしとのことなり

●貿易額の千分比例 昨四十四年に於ける朝鮮貿易の總額を輸移出入に區別し而して關係各國に千分比例したるものによれば輸移出に於ては内地は七十割七分淸國は十六割露領亞細亞は八割米國五割一分其他二分にして輸移入は内地六十三割英國十四割七分淸國十割一分獨逸三割四分米國七割九分露領印度七分白耳義二分其他一割の比例なりと云ふ

●朝鮮鑛業の消長 昨四十四年に於ては一般に税金を滯納したる鑛業權者に對し其の許可を取消し又は自ら廢業したるもの多かりし爲め之を四十三年に比較すれば全道の鑛區數に於て四十八を減じて五百十七となり面積は四萬四千百八坪を減じて十九萬三千四百五十二坪となり鑛區税は二萬五千五十四圓を減じて總額九萬六千七百二十六圓となりたるが鑛産税額は事業進捗の爲めに二千七百八十四圓を增して總計六千七百九十圓となれり尚鑛産額に於て外國人の廢業ありしため二千二百九十六圓を減じたり而して砂金採取事業は非常に發達し四十三年に比して實に百十餘區增加し税額も又九千二十六圓を增したり

●京元湖南線の全通期 去る四十二年より起工したる京元線百三十六哩及湖南線百七十四哩は何れも來る四十八年迄に全部開通の豫定なりしも昨年來鐵道局にては殆んど兩線の開通に全力を傾注したる結果湖南線は來る三月六日を以て群山迄の開通を見るべく一面京元線も來る十月頃迄は鐵原迄六十餘哩の開通の豫定なる由にて湖南線は來る四十七年三月頃迄京元線は同年内に全部の開通を見るべしと云ふ

●朝鮮棉花の内地の需用 朝鮮に於ける綿作の收納高は目下のところ一萬三千擔にして將來生產し得べき棉花栽培用の畑地は農商工部の調査に依れば四萬八千七百三十四町歩なれば之れに全部の植付を爲したるものと見るも一町歩二百五十斤づゝを收穫し得るものと見て最極度の棉花收穫高は十二萬擔なるが之を日本の需用高四百八十萬擔に比すれば僅かに内地人十日分の需要に應じ得るの有様にて實に微々たるものなりと云ふ

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一 懸賞金壹百圓

右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一 文章は論文體言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一 當選論文の決定は本社爲囑鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一 應募締切期限は來る三月一日とす

一 當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一 當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事。

一 應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●鑛務課の分析所近況 農商工部鑛務課所屬分析所に於ける近況は同所は卅九年五月の開所にして其の事務は諸官廳及び一般人民の依頼に依り鑛石を分析するにあれど其の開所當時の如き未だ一般の鑛業思想發達せざる結果民間より分析を依頼し來るもの極めて少く從つて其の分析手數料の如き一ヶ年僅に三百圓内外を算するに過ぎざりしが其後朝鮮鑛業の發達と共に内地人は勿論朝鮮人と雖も分析が鑛業經營と重大なる關係あるを知るに至り漸次其の額を增加し昨四十四年一ヶ年中の分析手數料は約千圓に上るに至れり而して該手數料なるものは唯民間依頼の鑛石にのみ對して徵するものにして官廳依頼のものは之れを無料とし其の昨年中の分析取扱件數は官廳民間を合せ三百五十件餘に上り等しく一件と乃至七分鐵は七割を含むが如し而も玆に最も遺憾とすべきは民間の分析依頼者が往々にして其の鑛區中の最良なる部分若しくは鑛石の分析をのみ依頼し來り或は彼の石金の如き其の優良にして何人も含金量多きを知り得る種類のものは分析を依頼せざる等の爲め此等に對する平均を知り得ざるの點なりと云々(中川分析所技師談)

●製麻會社計畫其後 古城、釘本、梶原、德久等の計畫に係る朝鮮製麻會社は爾來杳として何等の消息なく殆んど立消ねの姿なるが今其の後の經過に就て聞くところに依れば同事業は苧麻の產出上現今の朝鮮としては愼重の調査を爲さゝるべからず依つて一方最初澁澤男に諮り關係より男を經て昨今總督府に調査方を依囑中なるが他方には發企人間に於て近日中朝鮮産の荒麻を晒し夫れを内地の製麻會社に托して紡績に編ましめ其の成績と總督府の調査を照合し其の結果を俟つて規模の大小を決し設立の運びにいたるべしとのことなり

●侍從武官昌德宮訪問 滯京中なる奧村侍從武官は八日午前朝鮮步騎聯隊を巡視し午後は昌德及び德壽宮を訪問せられたり

●司法官秘密會議續行 八日の司法部に於ける院長檢事長會議は前日同様長官室に於て秘密會を開き午後三時散會したり

●鐵道旅館起工期 鐵道局にては滿鮮直通列車の開通と同時に釜山、京城、新義州に鐵道旅館を建設すべく計畫中なりしが既に四十五年度より鐵道旅館新築費として總額百三十萬六千四百十四圓を向ふ四ヶ年間の繼續費として明年度豫算に計上したるが右豫算通過の上は漸次設計に着手し明後四十六年度より本工事に着手し新義州驛には別に新築を行はず單に同驛の階上に裝飾を施すに過ぎずとの事なり

●仁川商議役員會 仁川商業會議所にては八日午後七時より民團樓上に於て役員會開催し四十四年度末收入課金調査に付き協議する處ありたり

●支那動亂ご慰問狀 舊臘東京に於て開會されし全國商業會議所聯合會より中淸動亂に關し淸國實業家の代表者たる淸國實業團長沈仲禮氏に宛て見舞狀を發したるに對し一月二十日附を以て同氏の實弟より禮狀を送り來りたる旨東京商業會議所より當地商業會議所に通牒し來りたりといふ

●民團納稅獎勵新案 京城居留民團にては居留民に對し納稅の怠慢を豫め防禦し兼ねて納稅の獎勵を爲さんが爲め納稅督勵會なるものを設けんとの計畫あり昨今頻りに研究中の由なるが其の方法は期限内に納稅したるものには抽籤券を與へ其の抽籤口數は百本位となさんとのことなるが其の額は五十圓位を一等として四等迄とし尙ほ斯の如き例は現に内地の二三郡會にも行はれ居るも民團直接としては如何あらんと思はるゝ節なきに非ず若し不可とすれば納稅督勵會なるものを獨立のものとし民團より經費を補助する方利便なるべしとの事なり

●鮮人ご金屬器物 鮮人は日淸戰爭當時迄は如何なる技工者にせよ日本製の金屬器物は使用せざりしが同戰役後内地商人の入り込むと同時に追々日本化し日本製の金屬器物の朝鮮製に比して簡單にして利便多きを知りて之れを使用するもの多きを加へ現に錫鑿鉋の如きは七分通り日本製を使用し居れるが唯鋸のみは未だに朝鮮在來のものを用ひ居れりといふ

●京城の内地人戶口 京城民團區域内に於ける一月末の内地人戶口は戶數一萬百九十七戶人口三萬七千五百二十五人にして内男二萬二百八人女一萬七千三百十七人なり

●行旅病者收容所擴張 京城本願寺の經營に係る行旅病者收容所は從來極めて狹隘を告げ收容室僅かに四個に過ぎざるが這般本願寺にては之れが擴大を圖り同收容所下宋秉畯氏所有の貸家を借受くべく目下交涉中なりと

●御下賜酒肴料授與式 憲兵隊司令部にては八日午後一時より七日御下賜相成たる酒肴料を授與せしが將校同相當官以上參集明石司令官より皇恩の鴻大なるを訓示し嚴肅の裡に閉式せり

●商工調査ご出張 農商工部野田技師長田試補は三十五六日間の豫定を以て商工調査の爲め南鮮地方へ出張を命せられ來る十四日出發の筈

●森安氏實家に弔辭 京城日本人商業會議所にては議員森安久兵衞氏死去に就き八日夜鄕里福岡の實家に宛て弔辭を送りたる由

●岡山の淸酒醬油品評會 岡山商業會議所主催の下に同市に於て來る三月二十日より全國淸酒醬油品評會を開催する由なるが朝鮮の淸酒醬油釀造家に於ても依つて出品されたき旨申し來れり

●岩井技師の出張 總督府技師岩井長三郎氏は七日付を以て東京、大坂、福岡、山梨、山形、秋田、嚴手の三府五縣へ出張を命せられたり

●故森安久兵衞氏略歷 朝鮮人向雜貨貿易商として多年京城に住居し兼ねて京城日本人商業會議所議員として京城に於ける商工界の爲めに盡粹せし森安久兵衞氏は豫て胃癌に罹り福岡病院に入院中なりしが藥石其の効を奏せず本月六日同病院に於て溘焉として死去せられたり氏は福岡市の人少壯にして夙に商業に志し明治二十五年朝鮮の有望なるを想ひ同年十月京城に來り爾來刻苦奮勵の末今日の富を成し一方朝鮮雜貨貿易商として重きを爲すにいたれり人となり溫籍にして着實而も意思強く情誼に富み蓋し奮鬪的實業家としての好模範たり享年四十有六京城商工界の爲め惜むべし

●三貴族の督府訪問 朴齊純、李容植の二子爵及張錫周男の三氏は八日午後三時國分人事局長を總督に訪問し數刻會談せり

●警察事務報告例の公布 警察事務報告令警式は今回改正され一月より實施すへき旨總監部訓令第四號を以て一月廿四日付にて公布されたり

公人私人

▲岡正矣(日韓瓦斯會社支配人)馬山へ

▲岩井長三郎(營繕課技師)東京へ出張

▲京城手形交換高▼

	金額	枚數
二月八日	一四九、三五八、三八〇	四八四

●半島鑛業振興上の意見(其三)

△中村鑛務課技師談 鑛業の發展策といへば無論極めて結構なことではあるが併し何が故に鑛業の發展を企劃するか之れに依つて財貨を多く獲得せんが爲めか之れは余りに無定見の話ではあるまいか財貨は畢竟人間なるものがあつての必要物である即ち吾人は人間の爲めに計る發展といふ意味に於て最も鑛業發展を以て朝鮮現下の急務とし又た大なる贊成の意を表するものである朝鮮の現在に就いて見ると朝鮮は土地狹少にして田畑等の面積も頗る狹隘な結果か日本内地等とは大に其の趣を異にし如何なる深山幽谷の地に至るも其處に人跡を見ざること頗る稀であつて必ずや少くとも二三の人家を發見するのである即ち彼等は比較的人口稠密なる平原地に於ては以て耕耘すべき田畑を所有せず自然其の生存を繼續すべく山間へ追放せられたもので彼等は其の糧食を得るに鋭意する余り前後の思慮なく附近の山林を燒却して玆に火田なるものを作り敢て其の土地を荒蕪地たらしむる等の點には意を須ひず其の火田の如きも多くは蕎麥等に於て僅に一年の耕作を可能ならしめ次は二年若くは三年を隔いて漸く辛うして收穫を擧げ得る程の荒蕪地たらしむるに至るものであるが畢竟是れ彼等が從つて以つて生計を營むべき職を有せざるに起因するものに外ならぬ而して朝鮮今日の狀態よりして此等の人々に職業を與へるには之れを鑛業を外にして他に道がないのである即ち大に鑛業を振興せしむるの必要を認める而して鑛業振興とは換言すれば現在存在するものを最も善く利用すると云ふことに歸するのであるが然らば如何にすれば最もよく這の在るものを最も善良に利用すると云ふ目的に適ふかと言へば吾人は其の振興を計つて最も有望なるは金鑛の外之れなしと信ずるので金に例を採るが今技術上より金に就いて遠ふれば金鑛なるものは大体に於て各所とも其の性質は略々同一で只之れを利用する方法に於て自ら異つた結果を生ずるに至るものだ川崎技師の談話中に於ける如く猥りに鑛石を遺流せぬが如きも一種の利用法たるを失はぬか今各地の金鑛について見ると第一朝鮮式稼行に適當するもの、第式稼行には堪へ得ざるも或種のには堪へ得るもの、第三雲山式採鑛法を以て適當とするもの、の鑛山が存在して居るので吾人最良に利用するとは各其の鑛山に依り此等三種の採鑛法の何れ適當なりやを觀取して採鑛に從であるが第一の種類に屬する鑛めて云はずもがな第二の種類の或一區域の鑛床のみの所産を以は採鑛を經營するも左迄の收益得ぬもの、附近には尚は多くの在し夫等の産額を合すれば經營有利ならしむる種類の鑛山で第資金を有せざれば稼行を爲し得類のものであるので朝鮮鑛山は上三種の方式に適用して稼行しのであるから其の適用を過らぬ最もよく利用したと稱し得るの是れ即ち自然に鑛業の振興を來になる而して巧に之れが適用がか出來得ぬかは吾人のユートピせねば幸ひである最後に云ふべ下朝鮮の鑛業界は未だ鑛床發見であつて其の方面に努力しなけらぬ即ち未だ隱れたる各種の鑛いので此の方面の發見に努むる業振興策たるを失はぬ

▲茶袋▼

米國でも支那共和承認運動が起つてをる、國際のどに餘り重きを置かざる同國のれば、或は卒先承認の公表をしをして瞠若せしむることがあるれぬ▲我に於ける國民中央兩派其士聯合の南京政府承認運動も、頃友會方面の疑團氷釋して、同會の連中も實行委員の中に加はることつた、これで愈々擧國一致の要素は成立つた、此上は更に之を擴張國民の輿論を喚起し、政府をして乘せられぬやうにさすのが大々旺ある▲米國の上院が外國移民排斥り日本人勞働者に關する條項を修たのは近頃の大出來である、元來人排斥と云ふ樣な事は、古い舊國の事で、先進國の米國ともあらうが今頃コンナ事でヤキモキして居は可笑な話だ▲衞國では前の外務のプロコ氏が共和政府顚覆の陰覺し、之が關係者として檢擧せらもの一千餘名に及ぶと云ふが、衞黨の勢力失墜は、彼等が餘りに官腐敗政治を施した反響であるから後タトヘ之等の陰謀が數々企畫せたとて到底成功は覺束なからう。

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客(七日分) 乘車人員 五七六 降車人員 六四六 乘車賃金 一四五二、二八〇

▲南大門驛荷扱高(七日分) 發送貨物 五六 到着貨物 六五二 貨物賃金 四八六、八六〇

▲龍山驛乘降客(七日分) 乘車人員 二〇五 降車人員 一七八 乘車賃金 二二〇、五六〇

▲龍山驛荷扱高(七日分) 發送貨物 五 到着貨物 二五五 貨物賃金 七六、二五〇

●仁川大豆取引所

●前場二月限不申▲三月限寄付十三圓七十七錢▲止七十二錢▲最高七十七錢▲最低七十二錢[illegible]

●大坂期米電報

[illegible]

●天氣豫報 (自八日午後 至九日午前)

南西の風晴



元花月の仲居頭
おのぶの述懷談

(其の九)

嗚呼剃刀の刄よりも薄き渠女の唇の一度翻つて油然として雲を呼び沛然として雨となり風となり雷電鳴り靂めいた**當時の狀景を眼の前に見る心地**ぞする、浮屠子は曰く迷ふが故に凡夫、悟るが故に佛、佛俗豈二あらんやと、我曰く若きが故に新造、年老るが故に年增と呼ばれ婆となる、新造即婆、婆即新造、心を虛うして接せば虎狼も遂に親むべし、已れ先づ疑ふて他已を疑ふ、妖言此の間に入つて千歲の禍根此所に萠す、白晝妖魔を見て暗黑裡に其正体を探る、誤るの第一歩なりだ、恐ろしい女の舌は盛に回轉する『此も或時の事でした例の如く**鶴原さんと頭本さん**とがお見へに成つて散々御散財に成つてトドの大詰が**新町へ行**かうかと發の御相談が出ました、サア何方から發言れたのかは覺ねて居りませんが何方も其方にかけての强の者ですから相談怱ち一決に及ぶと『おのぶ貴樣も同伴に行け』との御命令で藝妓はおゑんさんと誰でしたつけ其他二三人伴れまして第一樓へ乘り込んだ時の景氣つたら無いんですよ、第一樓でも面食ひましたらう何にしろ時の總務長官を筆頭ですものね、引くり返る如な駄々羅遊びを成さつてゞした、其頃のお役人は大概お獨身でしたから**官舍へ藝妓**をお招きに成つたものです、現にアノ嚴格い顏を成さつての……此は止しましよう、エ、關はないつて、貴許は關はなくとも少々此方に關う事がムいますんですよ、オホホホ、生酔本性違はずですつて、夫りや稼業ですものね、殆んど每晩の如に意氣の合つた方同志でお見へになつては、盛んに**他人の方針**やらドーシンやらの**批評**を通り越した**惡口**を仰云つてるのを私は小耳に挿んで置いて一方の方へ口移しにする、スルト其方達が又先方さんの惡口を仰云る、と私は**夫を又双方へ取次ぐ仲買人**と云つた格ですよ其度每にタンマリと頂戴出來るので福々ものでしたね、其頃の鶴原さんのは粒の小さい雪子と云ふんでしたが夫を又**海軍の宮岡**さんも大分に**御最負**で隨分可愛がられたものです、處が、**雪子は其以前から金山さんの所有**でしたんですよ、考へると殿方なんてものは馬鹿な者ですねと思ひます樣なもの、又左樣でも無かつた日には弱い女の立瀨が無い事になるのかも知れません、と考へると世の中は面白いもので御座いますね、左樣斯うしてる內に此の**雪子の身体に故障が出來**ましてね、エ、左樣ですとも頂くものを頂いての結果ですから不思議はムいませんとも、オホホホホ、稼業も出來もせず爲せもされずと云ふ所から**宮岡**さんと**鶴原**さんのお兩人から**大枚のお金**を頂いて內地へ出養生安々と身二つに成つたと聞いて第一に安心したのが例の金山さん、エ、エ彼の方の事ですから舌も出したらうし鶴原も宮岡も馬鹿だなア位の事は蔭では仰云つたでしようよ、元來餘り温柔い方ぢやないんですものね、ハハハハハ』(つゞく)

●玄米百石を呑む
▽入浴中を御用だ

佐賀縣佐賀市材木町當時京城櫻井町一丁目十番戶酒商大川市二(三七)は一月二十五日度支部醸造試驗所に納入すべき玄米百石を龍山面麻浦米商金鎭燮より借り入れ二十七日納入の手續きを濟ましたるが金より代金の請求を受けたれば納入書を示し委任狀を渡し金の名義にて受領すべしと欺き直ちに金に對する委任を解除更に明治町田村俊次郎に代金受領方を委任して同人より金千圓を借り受けて私消し行衞を晦まし居たるを金よりの告訴により南部署の長野岸佐藤の三刑事が探索中六日午前七時櫻井湯に入浴し居たるを取捕へ本署に引致取調べの上八日詐僞取財犯として身柄を檢事局に送る

●井手某等の公判
▽地方裁判所大法廷にて

伯爵李址鎔、井出某等の賭博被告事件は九日午前九時半より地方裁判所大法廷に於て塚原裁判長、原、齋藤の兩陪席境檢事立會の下に公判開廷あるべし被告辯護人としては白井、大久保、中村、岡田の諸氏出廷すべしと

●永登浦消防組員の改任 同地義勇消防組員全部の改任を行ひ田部警察署長より組頭、頭組頭、小頭三名を指名し消防手四十名を擧げたるが前記組頭以下五名の役員の發起にて紀元節當日を卜し消防手及び官民百餘名を招待し同地小學校內に於て盛なる披露會を催すと尙前組頭以下の功勞を表彰する爲め近く木杯其他を贈呈すべしと新任役員左の如し

組長(前學校組合管理者)長島綱吉、副組長(現任學校組合評議員兼學務委員)村田喜一、小頭(再)內山喜藏、木登甚助(再)齋藤富藏

●出處不明の熟柿 龍山坊麻浦統戶不詳崔丙健方水汲人李鳳雄(二五)が七日夜七時頃箱を背負つて盤石坊萬里峴荒井牧場附近を徘徊する擧動不審なるより警官が引つ捕へて取調べたるに箱の中より柿現はれ出でたれば出處を尋ねたるに曖昧なる申立をなすより西大門分署に引致取調中

●アメーバ赤痢 中部澄清坊想思洞四統三戶李健楨妻申姓女(二五)は病氣に罹り長らく臥床中なりしが六日總督府醫院に赴き森氏の診察を受けたるところアメーバ赤痢に罹れるものにて同日住宅に大消毒を行ひ患者を順化院に送る

●八景園の十日會 龍山麻浦方面在住の官民有志の發企にて同地在住者の懇親を計らんが爲組織せる龍山十日會は來十日午後六時より例會を元町八景園に開會する由會費は金壹圓にて同地在住者は隨時入會差支なしとの事なり

●賭博 南部金井洞商成昌順(三六)北部花開洞石油商李德煥(三三)南部草洞酒商金聖雲(三二)の三名は七日夜十時半頃金方溫突內にて賭博中捕へらる

●演藝だより

▲壽座 改成義團一座九日の代狂言は一番目『花魁殺し』三幕二番目『響』三幕切『京人形』にして重なる役割左の如し 清水一郎(岩田)保積子爵、甚五郎(石藤)重木豊之助、甚助(今井)野々村源八(乾)江口憲兵、都築幾太郎(月本)娼妓龜菊(松島)房江(小今井)重木老母、神主(水野)夫人雪枝、京人形(水谷)中江老人、竹村男爵(水谷十太郎)

▲浪花館 圓若一行の落語手踊り大切の餘與は『打連酒瓢々』清元連中にて相勤め候とあるが呼物にて大入

▲歐舞伎座 浪花節芝居九日の代狂言は前『金子春太郎の傳』三日間殆き切は『勝田新左衞門』なりと

●懲役二年六ヶ月 長崎縣東高來郡口の津村字大屋當時住所不定の吉田一(三〇)と云ふは四十三年九月窃盜罪にて京城區裁判所に於て懲役一ヶ年に處せられたることある不了見者なるが本年一月八日以來龍山各町に於て窃盜を働き龍山署の手に捕はれ檢事局に送られ審理中なりしが八日京城區裁判所に於て懲役二年六ヶ月に處せらる

●死牛を追剝ぐ 仁川府田反面長樂洞三統四十戶李圭澤(三二)は去月三十日同所金化辰の飼牛が病死したるを以て戶外に置きたるを晴夜に乘じて該斃牛の皮を剝ぎ取り多所面禾洞一統三戶金雲鶴に金四圓六十錢にて賣却したる處發覺し七日取押へられ檢事局へ送らる

●泥上戶の人力車挽 熊本縣人南大門通二丁目蒲原藤三郎方人力車挽子島村辰次郎(三三)は七日午後十時半頃泥醉して南大門通りを迂路付き步き派出所に入り込みて譯の分らぬことを怒鳴り散らし南部署に引致さる

平民文庫

▲下の如き投書が來た事實ならざらんことを希望して御參考迄に發表すること二件▲全羅北道古阜郡廳の井上虎造なるもの昨年四五月頃なりしが鮮人より千圓餘りを詐欺せしを其筋にては御承知なきか實に官吏の體面に關する御調査ありたし敢て訴ふ(古阜官吏)▲鐘路○事局の家脇希さん共同經營のシキヤキ屋此頃の利廻りはざんげなもんでがす(內密生)▲以上(係)▲某銀行員等は此頃朝鮮の年末に際し彼是屋と氣脈を通じ恩賜公債を買取り甘い汁を吸はんと大に活動して居る(隱士)▲委細願ひたし(係)▲茶の湯生花の女教師は西部餘慶坊刀子洞八十八統三戶の鈴木さん方の日野先生が確實、茶は千家、花は池の坊(老人)▲壽町梅の井館とか云ふ下宿屋のたふみとか云ふ下女は藤井高○とか云ふ下宿人と情交を締結して居るが彼はナカナカの凄腕だ(無名子)▲佐藤理藤太なる人は小生の親友なるが當時龍山に居住さるゝとの事なるも住所不明に付御存じの方は(鐵路高橋方桑原迄)▲筋書屋君に告ぐ餘りに朦朧体なり沒とす(係)▲○○局の川又君よ、君は壽町の松本某が老人にして好人物なるを好い事にして同人に支拂ふべき下宿料を三年間も引のばして今に拂はぬのは人の道であるまい同人は目下困つてるのだ早く拂ひ玉へよ(見兼)●生)▲果して眞實ならば不埒(係)▲笹の浪さんお樂しみですね、近日中に大和町の方へですつて末は令夫人だワ、待ち遠しいでしよう(訝耳生)

藝妓の一萬圓處分法

『サア來い勝利』は驚いつちまうよ、何の事ァ無い喧嘩だね、エ『喧嘩腰にならなきやア話さねねぢやアねわかね』つて、何と云ふゾンキな口のきゝ樣だらう、人は氏より育ちと云ふ其のお育ちが思ひ遣られるよ、其所へ行くと妾なんざア柔かもん育ちだらうつて、トンダ梅坊主が出來上つたもんさね、餘計な事を喋舌つて居ねわで早く片付ろつて恰で他を叱つてるよ貴許は

花月の勝利 貴許の如に左樣ガミガミ噛み附けては駄目、折角出かゝつてる名案が尻込みしますよ、貴許の如に誰彼の差別なく藝妓なんぞは誰れでも同じ如に思つて妾の如な內氣な者にまでポンポン云ふもんぢやありませんよ、人を見て法を說けつてね事があるぢやありませんかエ、ホンニお前は內氣だつたなアつて、お巫山戲なさんなよ、處でと、何にしろ一萬圓あるんですよ、能ござんすか、先づ其內を三千圓親爺に遣りますね、喜ぶでしようねね、跡に未だ殘金が七千圓ありましよう、能ござんすか、其內の一千圓を太神宮の御造營費に寄進します、デモ未だ殘金が六千圓有りませう、能ござんすか、其內の一千圓を長唄嗜好會ーーツマリ、笑つちや厭ですよ、藝妓衆の藝の研究をする會ねーー其爲めに寄附します、跡が未だ五千圓あるのですね、能ござんすか其內千五百圓を出して本町通りへ三ヶ所計り奇麗な便所を建てたいと思いますね、殘りが未だ三千五百圓ありますんですよ、能ござんすか、此れで鐵道で歐羅巴を見に行きます、行つて戾れる所まででですよ、ね、一萬圓と云ふ道ひでがありますすねね』と眞實に摑んだ程の意氣込み

●壽座での雜感と雜評(下)
むらさき生

僕は明に白狀致しますが東二階棧敷のエ席から見て居ましたのみならず、塵芥溜と申しますのは何とやら席と云ふ貼札の下の空地で、何故其樣處へ入つたのだと仰云るか、夫れは如法の大入叶つたので既に僕等の歡迎されべき餘地が無つたのだ、加之に僕の前の所には二等席を溢れて三人の日人と一人の鮮人下女とが流れ込んで素晴らしく幅を利かして居るので中腰にならねば見わぬ、初めて何とやら席に座つて見て其席の如何に冷かに如何に見苦しいかと云ふ事を實驗し得た、寺子屋の幕が開いた寺子の內に斬切頭とた下髮とが見へる一寸感興を殺がれる**小寵のよだれくり**思ひ切つたる面がまち頭から觀物を吞んで掛つて死に身になつての働らき**伊達子の三作**此は誰が演つても道化ての大向ふ受けのする儲け役ながら小寵との呼吸があつて惡巫山戲をせずとチック笑はせた**梅奴の千代**、戶浪を食ひ源藏を食ひ松王をも食つて仕舞つた、尤も役も儲役、と仰云る方があらうかなれど如何に儲役とて只やアア儲かりませぬ、僕屢々各地に於て素人芝居、即ち本職以外のお芝居を見るに對面の五郎とか玉三の鷲塚とか雪の常盤とか閣の扉の關兵衞とか道行の忠信とか云つた側の華々しいのは悉く成功して世話場の對話の多い側の方は不成功に終つて居る、サア其所だ、平凡決して平凡に演つて退けられるものでない此故を以て梅奴の成功を稱へるのだ、或時此を或る其の道の名人に尋ねたら貴許でもない**自分一人と他人と二人とでは何方が氣が合**ひますかと云つて笑つた、成程素人が演るには振の多い見得の多いチヨボに乘つての物語りメイたものを撰ぶべきである、位の事は御存じでもあつたらうが何分樂屋が大勢なので思ふ如に成らなかつたのであらう。文の助の玄番の成功が即ち夫れである、併し**不思議**なのは**此の姐**さんである何をさせても相當以上にコナシて行く處只モウ感服の他はない、かずの源藏の不成功が即ち夫れである、科白の受け渡しの……シカモ時代でなく世話に碎けたの釋六ヶ敷いものは無いのだ『思ひ出せばオヽ夫れよ』と來る『建元二年神無月』と云つた風のは科白さへ腹に入つて居れば其受け渡しの間と云ふものが定つて居るからオンでもないのだ、京の松王丸咽喉が細いので科白が通らず出來も思はしからず二度目の出の衣裝の○に二引の黑五ッ紋附離れの型かは知らないが彼は矢張り同じ衣裳でなければならず、云はせれば何とか云ふ理窟もあらうが野暮なやく、貞子の小太郎可愛らしい事く玉奴の御臺所板の間へ座りに出た丈けの事、其時僕熟ら思ふに未だ二幕ある到底何方かを拔くのだらうが菊畑を出すのなら見て歸らうと思つて幕になつてから覗き込むと中將姬の方だ甚だ失禮だが失敬した、希望やら何やら澤山あれど又に讓る(をはり)

父久兵衞儀豫て病氣之處終に養生不相叶本日午前八時福岡病院に於て死去仕候間不取敢此段辱知諸君に御報申上候早々頓首
追て來る九日午後三時南山東本願寺別院に於て追弔法會執行仕候(葬式は同日郷里福岡に於て擧行仕候)
二月六日
嗣子 森賢二郎
親戚 森安吉 古賀八造
總代 淺海新太郎 淺海助太郎 森勝次
友人 陶山武二郎 前田熊市
總代 進辰馬

田中友吉商店 發電略(ク) 電話九九三
京城本町二丁目
大坂野村德七代理店
諸官衙御用達
新茶 …

かいしゅん 回春 めぐすり 目藥
京城南大門通三丁目
代理店 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

醸造元 兵庫縣灘 江井ヶ島酒造株式會社
優等銘酒 二 コマリサムネ
發賣元 京城南大門通二丁目 百合正宗京城支店 電話一五一五番

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷付御小賣にても大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五〇番 替振京城五〇二番

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

高島易斷
龍山の内 町一丁目御嶽教大講義

試驗済 消毒牛乳
牧場直轄 京龍牛乳販賣所
京城永樂町二丁目 電話一七一〇・一九八〇番

大募集
二十世紀新美術的副業にして…男女老幼共易に…自宅に於て…收入一ヶ月…
大阪北區…高橋商店
振替口座大阪…

最上醬油 高
醸造元 仁川港萬石町 高杉醬油醸造場 電話七六五番

舶來アイボリー石鹼
IVORY SOAP
舶來アイボリー石鹼を被しとい石鹼へ出入すに偽物も澤山ありますから御用心
舶來アイボリー石鹼は包紙に斜にアイボリー石鹼の日本文字あり是なきものは偽物なり御用心

M.C.C.
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
土耳古卷紙
京城 平壤 龜屋 釜山 木浦 群山 高瀨支店

精神感應催眠術 無催眠 諸病治療 惡癖矯正
南山町一丁目六十四番戶ノ一 大剛庵

各種上等石炭
日本產石炭各種
金谷、綠江、高島、唐津、平壌無煙炭、卵形炭、平形炭、無煙粉炭、煉炭
石炭直輸入商 西崎商店 京城西小門通四十七番 電話七二七番

蛇印 おつけはやりかぜ・づつうりうまちすに大効あり アンチピリン丸
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣元 大阪…丹平商會 本舖 東京…丹平商會
京城 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城一〇六八番

歯科 治療
本町六丁目(蒼そば橫町)
ドクトル 中村安子 (電話一五八三)
女子見習…

◎誠ハ弊店ノ主義也
登錄商標 誠
醸造元 仁川山根町二丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號(フ)

歯科診療
京城南山町二丁目(天眞樓隣 寫眞館跡)
歯科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏 (電話四百十二番)

効能ある溫泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町二丁目(朝鮮銀行北橫手)
廣安喜次郎 電話一四一一番

特約店
野田醬油 キツコーマン
茂木七左衞門醸造 野田醬油 町田野道…
大日本麥酒株式會社 清酒 醬油 酢 甘露醬油
和洋酒類 穀物麵類 野菜果實 宇治銘茶 和洋罐詰 乾物荒物 薪炭 其他日用品一切

陸軍御用達 諸官衙御用達
味噌醬油醸造元
御贈答用進物品並に商品券調製仕候間御用命の程希上候
京城本町五丁目(電話二百五十一番)
大上友太郎商店

紙 印刷
諸紙 和洋帳簿 諸官衙御用 印刷 各種製本
京城永樂町二丁目 播本商店 モト 電話百拾番

比較ハ最良ノ選擇法ナリ
優等清酒 櫻正宗
醸造元 攝津灘 山邑太左衞門
醸造高 貳萬余石
京城明治町二丁目(漢城病院前)
山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番
市内到ル所販賣店有之候ニ付櫻正宗ト御指定御買上被下度候

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店出張所(大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、新義州、安東縣、釜山、群山、馬山、城津、會寧、…)
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
電話 …

タバン懷中時計會社 朝鮮代理販賣店
米國ウォルサム…
掛置時計 明治時計 朝鮮代理店 販賣店
各種蓄音器 卸小賣取次店
京城南大門通三丁目 喜多金光堂本店 (電話一〇二五番)
仁川本町三丁目 喜多金光堂支店 (電話七五番)
時計商 各官衙…時計卸小賣

★株式會社百三十銀行 京城支店
電話百九十四番・五十八番 振替貯金朝鮮一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、
東海道 平野、住吉、御影、東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙臺、福井、鯖江、北方、加納
北陸道 小濱、敦賀、福井、金澤、高岡、富山、伏木、新潟、大聖寺
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、今市、太田、倉吉
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須
南海道 和歌山、円邊、御坊、新宮、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、尾鷲、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、
西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南、
樺太 大泊、
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉、公州、水原、全州
清國 安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

筑前流割烹 すゞ津稲
南山町一丁目 電話千五百二番

唐操白米
龍山精米所
京城本町…電話一…

キ
二月中 滊船出帆廣告
三省丸 舊島海州行 二月日前時
天草丸 海州行 二月日前時
成歡丸 屯串行 二月十二日前九時
海利丸 海州行 二月十一日前九時
三省丸 大湖芝行 二月十日前十時
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町四丁目 電話一三番
荷客取扱所 秋田商會船舶部荷捌所 仁川本町海岸通 電話四一九番
仁川本町一丁目 電話七五〇番 柴田回漕店
仁川本町四丁目 山本回漕店 電話五二二番